

平成30年度 第1回教育研究評議会議事要録

日時 平成30年4月11日(水) 14:00～15:30
場所 事務局第1会議室
出席者 三村学長, 尾崎理事, 太田理事, 岩切理事, 佐川副学長, 折山副学長,
内田人文社会科学部長, 荒川教育学部長, 田内理学部長, 増澤工学部長,
戸嶋農学部長, 木村図書館長, 栗原全学教育機構長, 松坂評議員, 田中
評議員, 蓮井評議員, 小野寺評議員, 瀧澤評議員, 岡田評議員, 吉田評
議員, 乾評議員, 梅比良評議員, 大久保評議員, 福與評議員

議 題

審議事項

- 1 学長選考会議委員の選出について
- 2 平成31年度概算要求の検討について
- 3 その他

報告事項

- 1 教員の人事について
- 2 ドイツ・ユーリッヒ研究所との部局間交流協定(理工学研究科)について
- 3 カナダ・TRIUMF研究所との部局間交流協定(理工学研究科)について
- 4 理学部学部間交流協定の終結について
- 5 平成30年度科研費採択状況について
- 6 平成30年度入学試験の実施及び受入状況について
- 7 平成30年度学長リーダーシップ経費の執行について
- 8 国立大学法人茨城大学組織規則の一部改正について
- 9 平成30年度の重点取組について
- 10 その他

議 事 概 要

I 審議事項

- 1 学長選考会議委員の選出について
総務課長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 2 平成31年度概算要求の検討について
学長から、審議願いたい旨の提案があり、財務課長から資料2に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

【主な意見】

- データサイエンスについての事業を提案するにあたって、出来るだけ早い時期に、大学が組織的に取り組むことを検討する必要があるのではないか。
 - データサイエンスに関する事業は、大学単体で終結するような提案では採択されるのが難しく、他大学との連携が担保されている形で提案することが必要である。
- 3 その他
なし

II 報告事項

- 1 新教務情報ポータルシステムのトラブルについて
太田理事から、机上配布資料に基づき報告があった。
- 2 教員の人事について
学長から、資料3に基づき報告があった。
- 3 ドイツ・ユーリッヒ研究所との部局間交流協定（理工学研究科）について
太田理事から、資料4に基づき報告があった。
- 4 カナダ・TRIUMF研究所との部局間交流協定（理工学研究科）について
太田理事から、資料5に基づき報告があった。
- 5 理学部学部間交流協定の終結について
太田理事から、資料6に基づき報告があった。
- 6 平成30年度科研費採択状況について
尾崎理事から、資料7に基づき報告があった。
- 7 平成30年度入学試験の実施及び受入状況について
折山副学長から、資料8に基づき報告があった。
- 8 平成30年度学長リーダーシップ経費の執行について
学長から、資料9に基づき報告があった。
- 9 国立大学法人茨城大学組織規則の一部改正について
総務課長から、資料10に基づき報告があった。
- 10 平成30年度の重点取組について
学長から、資料11に基づき報告があった。
- 11 その他
なし

III 監事からの意見

- ・平成30年度の重点取組について、特に新たに設立された研究・産学官連携機構の成果創出、地方大学・地域産業創生交付金獲得、COC+の取り組み、志願者拡大及び入試改革、教員業績評価、財務改善実行計画の着実な実施などが重要であり、今年度はさらに前進するような取り組みをお願いしたい。
- ・教育学部附属学校園の人事について、昨年度の監事監査の重点項目に附属学校園の取組と課題をあげている。近年では附属学校園と茨城県との間の人事交流がスムーズに行われずに各学校園の欠員が解消されていない事実があり、教育学部の附属学校として教員養成と研究発信といった本来の役割が困難になるのではと懸念している。市町村教育委員会から附属学校園に送り出せる教員が少なくなっている現状がある。このことを教育学部だけの問題とはせず、大学として附属学校園教員確保の方法の検討をする時期になっているのではないか。附属学校園教員の勤務時間改善の対応と併せて検討いた

だきたい。

IV その他
なし

次回 教育研究評議会開催
5月10日(木) 15時00分から